

◎これまでの報告◎

冬の総仕事 11月26日(日)

毎年、寒いなかご尽力いただきありがとうございます。皆さんのお力をお借りしないとできないことなので、本当に感謝しています。半透明の波板がとても明るく、御堂でお参りや活動をしていてもたくさんの光を通してくれます。また、防犯的にも中が見えることで、安心できます。



歳末勤行、除夜の鐘つき 12月31日(日)

須弥壇に鏡餅や仏花などをお供えし、新年を迎える準備も済ませて、清々しい気持ちで午前11時から今年最後のお勤めをしました。その後、皆さんと、一年を振り返りながら年越しそばを食べました。大晦日のお忙しいところ、時間を割いてお越しいただきありがとうございます。



午後10時30分より、小雪が舞う中で、鐘を撞き始めました。横風が強く、残蠟を溶かして作った灯り取り用のロウソクにはなかなか火がつかなくて、手探りで鐘つきの紐をつかむ状態でしたが、たくさんの方にお越しいただきました。

修正会 1月1日(月)

午前10時より、今年初めてのお勤めをしました。お寺の入り口を何度除雪してもあつという間に雪が溜まっていくほどの降り様でしたが、たくさんの方にお参りいただきました。法話の『無財の七施』では、笑顔や優しい言葉にはお金が全くかからず、人を幸せな気持ちにするということなので7つの方法を聞きましたが、煩惱具足の凡夫である坊守は、1か月も経たないうちに忘れていました。東京にあるプロジェクト我聞という会社が発行する『わげんせ』(和顔施)というフリーペーパーの取材を受けて、この『無財の七施』を意識するようになりました。『無財の七施』を通して、再度日々の生活を見直そうと思いました。



書き初め会 1月8日(祝:月)

冬將軍の到来を思わせるような強い風が吹き、お寺を囲むトタンの音が恐ろしく聞こえましたが、子ども達は、白い紙の上に、墨汁やクレヨンで思い思いの言葉を書きました。今年の10月に行われる750回忌に掲示する予定の正信偈のお写経を用意したところ、子ども達はいきいきと書いてくれました。ご門徒の皆様にもご協力いただき、120行を完成させたいと思います。その後は、皆さんと年明けうどんを食べました。



いのちのつどい 1月21日(日)

その月に亡くなられた方を偲んでお話をしたり、親鸞聖人の思いに触れたりして、充実したひとときを過ごしました。皆さんと正信偈を読んだ後、真宗カルタの言葉の一つずつ拾いながら、真宗の教えと智恵に触れました。



いのちのつどい 2月18日(日)

その月に亡くなられた方を偲んでお話をしたり、親鸞聖人の思いに触れたりして、充実したひとときを過ごしました。皆さんと正信偈を読んだ後、お手玉遊びをしました。お姉さま方の歌に合わせて、お手玉を巧みに操られる様子に感嘆しきりでした。右手でお手玉を上に向けている間に、右手で左手でつくったトンネルにお手玉を通し、落ちてくるお手玉を拾う素早い動きに目が追いつきませんでした。昔取った杵柄は、今も変わらず健在です。ものが十分でなかった時代の充実した遊び方、過ごし方を聞かせていただき、ほっこりとした気持ちになりました。

どうぜん爺上人

あれから...

正信偈

阿彌陀様の教えにふれよう

十二の光って
どんな光なのか
な?

もしかして...

大丈夫です
よ。続きを
読み進めま
しょう。

今回は、阿彌陀様が法蔵という名の菩薩として修行していた時に、すべての人々を救いたいという、これ以上ない特に勝れた願いを立てられ、十二の光に出遭われます。その十二の光についてです。

- ① 無量光... はかりない光
- ② 無辺光... はてしない光
- ③ 無碍光... さまたげない光
- ④ 無対光... ならぶものがない光
- ⑤ 光炎王... 王のように最も輝く光
- ⑥ 清浄光... きよらかな光
- ⑦ 歡喜光... よろこびの光
- ⑧ 智慧光... 深い智慧の光
- ⑨ 不断光... たえることのない光
- ⑩ 難思光... 人間の思いが及ばない光
- ⑪ 無称光... 思いや言葉では言い表すことのできない光
- ⑫ 超日月光... 太陽や月よりも明るい光

能発一念喜愛心
不断煩惱得涅槃
凡聖逆誇齊廻入
如來水入海一味

現代語訳
信じ、喜び、愛する心がひとたび起こる時、
煩いや悩みを断たなくても 仏のさとりを
得ることができるとは。凡人も聖者も
逆らう人もけなす人もひとたび心を回せば、
皆等しく救われるので、あたかも様々
な水がみんな大海に入って一つに溶けあ
うようなものです。

攝取心光常照護
已能雖破無明闇
貪愛瞋憎之雲霧
常覆真實信心天

次号につづくよ。

現代語訳
十二の光、いかがでしたかな。南無阿彌陀仏という
う真実の言葉は、人が生きて行く方向を正しく定
める仕事をしています。そして、光のつぎに雲や
霧がでてきましたぞ。

現代語訳
すべての人々を救おうとされる如来の心は
光となって、つねに私たちを照らし、まもっ
てくださいます。その光はすでに迷いの闇を
照らし破っているのに、私たちのむさぼり
とられる心、いかり憎しむ心は、雲や霧と
なつてつねに仏の真実の心の空をおおって
しまいます。